くみ なまえ

慣用句

ねこの手もかりたい

意い 味み

ひじょうにいそがしくて、人手が足りないじょうたいで、

どんな助けでもほしい強い気持ち

【れい文】

いねかりの時期の農家は、ねこの手もかりたいです。

今はひまなので、ねこの手もかりたい。いま

)

) 犬は、お手をする が、 ねこは しないので、 ねこの手もか

りたいと思います。 ^{おも}

(

ねん

くみ なまえ

慣用句

足がぼうになる

意い 味み

長い間、歩いたり立ちつづけたりして、足がひどくつかなが、あいだ、ある

れているじょうたい。

【れい文】

体そうをする時は、足を曲げずにまっすぐ立ち、足がぼうになたい

るようにしたいです。

たくさん歩いたので、足がぼうになった。

)

今日はい 一日中家でねていたので、足がぼうになりましいちにちじゅういえ

た。

慣用句の意味 がんようく いみ

ねん くみ なまえ

慣用句

虫がすかない

う。

意い

味み

はっきりとした理由はないけれど、何となくいやだと思いっきりとした理由はないけれど、何となくいやだと思います

【れい文】

人から虫がすかないと言われる立ぱな人になりたいと思いま
ひと
りつ

す。

)

虫がすかないけれど、バッタはすきです。

この主人公は自まん話ばかりしているので、 、虫がすか

)

ない

慣用句の意味 がんようく いみ

ねん くみ なまえ

慣用句

さじを投げる

意い 味み

これい上どうしようもないと思い、あきらめて見放すこ

と

【れい文】

料理をしている時に、さじを投げて使うのはよくないです。りょうり

わたしは、この問題がむずかしくて、さじを投げました。

)

)

か れは、 (, つ ようけ んめ い走る練習をして、さじを投

げています。

ねん くみ なまえ

【問題】 左の慣用句の意味を読み、正しく使うことができているれい文に○をつけましょう。 ቴムだい ひだり かんようく いみ よ ただ っか

慣用句

意い

味み

交さいはんいが広く、知り合いが多いこと

顔が広い



【れい文】

友だちが少ないので顔が広いのはしかたがない。とも

先生は、せが高いので顔が広い。

)

) 父 ⁵ は、 この 町 で 知らない人がいないほど顔が広いようし

です。

なまえ

kyozaisupport.com

慣用句

火花をちらす



意い 味み

たがいにゆずらず、はげしくあらそうこと

【れい文】

バレーボールのし合では、日本とアメリカが火花をちらして、た

たかいました。

きのう、火花をちらして花火をしました。

)

) ともだちと公園で、 火花をちらしてなかよく遊びま

した。

kyozaisupport.com

慣用句

ほねをおる

一生けん命にはたらくこと、人のためにど力することいっしょう めい

意い

味み



【れい文】

体育の時間、こけて、足のほねをおりました。たいいくしょかん

)

母は、家のかたづけをするのにほねをおって手つだってくれた。はは、いぇ

)

(

事はかんたんなので、ほねをおりました。

こ の 仕 ぃ

くみ なまえ

【問題】 左の慣用句の意味を読み、正しく使うことができているれい文に○をつけましょう。 ቴムだい ひだり かんようく いみ よ ただ っか

慣用句

馬 が 合 う ま っ お

気が合う、意気投合すること

意い

味み



【れい文】

友人といつもけんかをしているので、馬が合うのだと思う。ゅうじん

この風けいに馬は合います。

)

わたしと姉は、 しゅ味が同じで、馬が合います。

)

慣用句の意味 がんようく いみ

ねん

くみ なまえ

【問題】 左の慣用句の意味を読み、正しく使うことができているれい文に○をつけましょう。 ቴムだい ひだり かんようく いみ よ ただ っか

慣用句

図に乗る

意い 味み

> いい気になって、調子に乗る、 つけあがること



【れい文】

円と三角形の図形は、図に乗ってかきます。

)

わたしは先生にほめられて、図に乗ってしまいました。

)

(

わたしは落ちこんで、図に乗りました。